

「地区」-「班」

「氏名」様

きゅうり特報 No.1

令和8年4月17日

JA 中野市園芸課

JA 中野市きゅうり部会

～ 定植前の土づくり(施肥・排水性改善) ～

定植まで1か月を切りました。定植前の圃場準備として施肥は欠かせません。最低でも定植2週間前には施肥を行い、土壌混和してください。また、きゅうりの根は酸素要求量が高いため、水はけの悪い園地については排水性対策を実施してください。

表 1.夏秋きゅうり施肥基準(10a 当たり)

肥料名	施肥量	施用箇所/施用時期	
エアーポイント	20袋(360kg)	圃場全体	なるべく早く
炭苦土(粒)タイニー	5袋(100kg)		
ソイルグリッター	2袋(40kg)		
野菜一番	4袋(80kg)	畝のみ	定植1週間前 (マルチ張り時)
スーパーロング 413 (70日)	5袋(50kg)		
ネオカルオキソ粒剤	2袋(20kg)		

※土壌分析を実施していただいた方はお配りした施肥提案もあわせてご覧ください。

表 2.排水改善策

- ・堆肥の投入で土壌団粒化
- ・粘土質土壌では土の塊を小さくするモミ殻(生)投入
- ・明きよの設置で滞水対策
- ・高畝(20cm以上)栽培で根域確保

～ 定植前の圃場準備 ～

地温が12℃を下回ると生育が劣り、根の伸長が進まず活着が遅れる要因となります。定植までに地温が15℃以上となるよう準備を進めてください。

☆地温の確保のために定植一週間前にマルチ張り・かん水を実施してください。

マルチの種類によって効果が変わるので園地にあったものを使用してください。

種類	地温上昇	地温抑制	雑草抑制
透明	◎	×	×
黒	○	○	◎
グリーン	◎	×	○

お問い合わせ先

松井(携帯) 090-6397-1620